

本日欠席された委員からのご意見

■次期計画 中間のまとめ（案）について

●P13の真ん中あたり「育児中の保護者」 次の「介護者」に合わせて「育児者」でいいのでは？弟妹へのヤングケアラーも少数いますし。

●P25の庁内の部長級について、現状値より目標値が低いのは違和感あります。都の平均の現状値より高いのはけっこうなのですが。せめて、現状値と同値では？

●P51の3～4行目 「性的指向が同性や両性の方、あるいは性自認がはっきりしない方」直前の流れからは、「あるいは」の前後を入れ替えた方がいいのでは？

●P101以下の地域活動への参画について、地域の活動への区民の参画の話になっていて、特に男女平等や共同参画ということではない記述だと思われます。

●P35, 36 子どもたちへの取り組むべき課題 「子どもの個性や能力を育む学校教育の充実を図る」とありますが、具体的な政策は？P36の事業No.6は、作成・配布するだけでは効果が薄いと思われます。実際に読んでくれるか、読んでも理解できるか。できれば、配布のみだけでなくNo.9の授業（社会、家庭、道徳）の一部に取り入れる。また、朝の朝礼や課外研修の際に時折少しづつ話をする等、国都で決まっている教育課題の他に中央区独自の子どもたちへの取り組みとして「幼少期の人間形成に必要な人間関係、思いやり、マナー、道徳の教え」を取り入れていただきたいと存じます。

●P43 子ども、女性男性相談体制の充実 子どもほっとラインの相談件数はどのくらい多いのでしょうか？P45 図表4 アンケート調査では「直接会って話す」方法が多いようです。SNSなどから直接会って相談にのっていただくルートがあるのでしょうか？また今夏から始まった男性電話相談の利用状況はどうでしょうか？今までに加えて新しい取り組みに相談された方の解決が1件でも多くなった事を望みます。

●P57 女性の活躍推進に向けた取り組みの支援 No.64 新規のつながりサポート型の事業とはどのような検討をされていますか？

●P103 地域活動のきっかけづくり No.147 賛成です。先日も中央区女性ネットワークさんからイベント行事のご案内を頂戴致しました。まずはイベントや講座を通じて様々な課題を知っていただき、取り組みを続けていく事が必要と感じています。

●P107 男女共同参画の視点を取り入れた防災対策 男女平等共同の点以外でも女性の視点からの防災対策も必要だと感じます。私も防火防災女性の会に加入していますが、こちらの活動にも引き続き取り組みたいと存じます。

●P111 地域の活動で中心的な役割を果たす人材、グループ・団体の育成 人材や団体の育成だけではなく一般区民が参加しやすい場を作ることも目標とされたら良いのではないかと思います。

●P115 誰もが利用しやすい男女共同参画推進拠点施設の活用 区民にもっと施設を知ってもらおう活動と広報にて利用しやすい、参加してみたい行事を増やすことも必要かと存じます。

●P117 女性センター「ブーケ21」の活用の推進 アンケートから「非利用」と「非認知」が多く、まだまだ区民への認知度が低いことを改めて感じています（居住20年以上でも）。

広報活動の幅をもう少し広げて、ブーケ 21 の利用案内や No.6 で作成した児童への啓発パンフレットやその他行事相談パンフレットなど、区各館内に置くだけでなく人が集まる行事（大江戸祭り、盆踊りなど）に配布してはどうでしょうか？

●全体的に最新のデータに更新され、コロナ禍を経ての女性の影響(生理の貧困など)の記載が増えて良いと思う。

●データで見る中央区の現状から、世帯構造の推移の表がなくなっているが、なぜか。単身世帯の多さがわかるものだと思うのだが。

●P13 から始まるこれまでの取組のところで、これからの展望が示されており、わかりやすくなった。

●基本目標が示された p19 では SDGs との関連がわかりやすい。

●P22, 23 の重点事業を、P20, 21 の一覧表（体系図）の中にマークのようなもので組み込めないか。

●P24～26 の指標は、もう少し具体的な数字に踏み込むことは可能か。単に上げる、増やす、ではなく例えば 50%を見込む、など。

●P57 の No.64 のつながりサポートについて、前回の資料になかったため説明がほしい。

●P69 からの介護支援の充実のところに、ヤングケアラーへの取組を載せるのは時期尚早だと考えるか。

●P116 の No.170 大規模改修に向けたワークショップとあるが、大規模改修そのものが、行動計画 2023 の5年間では終わらないという認識で間違っていないか。

●P37 予防教育 家庭内だけでルールをつくっても、学校、警察、地域との連携で子どもたちの安全を守る必要性を感じる。

●P40 検診 特に男女とも健康が大切。検診率が上がるよう自覚してほしい。啓発の強化、継続

●P41 ママの心相談 どうしても育児となるとママの負担が多くひとりで悩むことがあり話す相手も少ないので、精神的な支え、パパや経験のある方、また子育て仲間との接点を設けてあげてほしい。実際にどのようなケアができているのか知る方法も広げてほしい。

●P43 地域福祉コーディネーターの相談 様々な中央区での地域の悩みがあり、一人で悩まず利用して相談してほしい。悩んでいるのはあなた一人ではない事、多世代の交流の場利用、各地域での格差もあるので、地域での相談の場、カフェ、への活用促進

●P47 SNS の相談検討実施 様々な取り組みに SNS を利用する取り組みはよいが、高齢者は活用までの壁が高い。その点も考慮していただき、安全、安心に取り組めるようお願いしたい。

●P52 SDGs ・LDGT 等 すべてのことが多様化と称されていて本来の目的や意味が具体的に認識されているか疑問

●P71 介護に関することほか 家庭の事情のあると思うが最近身近にもヤングケアラーの事も耳にしています。学業も大切、経済的にも心配、その辺の検討も組入れて幅広い世代に対応できるようにしてほしい。

●P76 男性を対象にした講座 普段ママが育児をしてることが多く、ママ自身の時間が取れ癒されることが大切であることを理解できるような講座で

あってほしい。女性の年齢ごとの体質変化などについても知識を得て頂きたい。

●P84 配偶者の暴力 相談者の詳しいことはわかりませんが精神的、経済的など様々な悩みを抱えての事、シングルでの負担など大きくなります。ケースによって違いますが具体的にはどのような支援が施されているのか。個

人情報なので難しいと思いますが、幅広く知る範囲が広がるとよいと思います。

●P116 ブーケ 21 長い間様々な取り組みを試み利用者さんを増やす、また利用しやすいようにと工夫はしているがまだまだ地域に伝わっていない。ブーケまつりの実行委員にも男性委員の協力がもっと増えていただければと思う。近隣施設との連携・協働の必要性、広報のあり方なども検討して頂きたい。

●普及啓発について（案）

以前出されていた、カフェ併設について、一案です。

少しでも多くの区民等にこの場を知ってもらい、内容の理解や利用につなげていくことを考えると、カフェ併設の案はとても良いと思いました。

その際、オリジナルなカフェという話になっていたかと思いますが、逆に大手チェーンを誘致してみるのはいかがでしょうか。

大手チェーンということで、日常的に訪れやすい流れが生まれ、施設内の動線を上手に地続きにするなどの工夫をすることで、自ずとセンターの方に足が向くきっかけが生まれるようにも思います。

民間でも、大手カフェと旅行会社の組み合わせであったり、コンビニと地続きにする施設を目にすることがあり、なるほど、と思ったことがあります。

行動計画を拝読するに、課題が多岐に渡ることが伝わってきます。

本センターの果たすべき役割は大きいのですが、それと同時に、関係各所と如何に連携を図るかが大切と感じました。

多くの方々が過ごしやすい、真っ当な社会の実現につながることを、切に願っています。

■女性センターの名称変更等について

男女平等や共同参画という目的に向けて、女性への働きかけの場という印象が強かったのを、目的を明示しつつ男女双方への働きかけの場という視点を出せたので良い案だと思います。なお、(事業)の五は、「男女個人の多様性を…」とした方が、ダイヴァシティにもいろいろな分野がある中で限定ができていいのでは？

名称変更については「中央区立男女平等センター ブーケ 21」でよいと思います。もし出来るなら、ブーケに交えて花のロゴマークも作成してはいかがでしょうか？中央区の花が‘つつじ’ですので、中央区の花咲く街の活動とも連携しつつじの花を区内に植えて「男女平等=つつじ」のイメージアップを図るなどご提案したいと存じます。

ブーケ 21 の新名称は、今回特に男性にも焦点をあてるということがわかりやすくなると思うので、男女平等センターが平易で良いと思うようになった。

●事業の追加

以前にも提案いたしました但男女とも（シングル）未婚の方が増えてきています。その方たちのサポートや相談、場づくりへの取り組みも大切と思います。名称に男女平等を掲げられましたので、そのメッセージが強く発信、印象に残る一方で、協働・共同の大切さのメッセージについても力強く発信できることを願っています。

●名称変更について

賛同いたします。これまでの女性センターという名称は、男性からすると馴染みにくい場であるという印象を与えていたかも知れません。

シンプルな名前の方が、通りが良いと思います。

愛称にすると、一見柔らかく映りますが、普及につながりにくいので、今回の内容が良いと思いました。

●事業の追加について

異論ありません。

以上